

今月の.....  
 きらり人.....



### 長友エツ子さん

昭和10年3月西都市調殿に8人兄弟の3番目の二女として生まれた。昔は学校を卒業すると、即就職を強いられた時代である。長友さんも岐阜県大垣市の大きな紡績工場に就職し、親

の仕送りを毎月欠かさず行った。紡績工場は、当時日本産業発展に大きく貢献した産業である。労働は過酷な面もあったが、全国津々浦々から就職してくる娘さんたちの明るさや活発さにあふれていた。20歳になるのを待つて帰省し、農家に嫁いだ。活発で行動家の長友さんは、農業のかたわら長友商店を開業し、近所の方に慕われ喜ばれてお店は繁盛した。その他にも聖陵地区の民生委員を歴任、中でも西都市ミニバレー協会会長を歴任し、会員120名程を引き連れて高千穂町での県大会に参加し夜神楽などを楽しんだことも楽しい思い出である。

一番の思い出は、姉妹で広島宮島の宮島観光したこと。海の上に建つ厳島神社は、「もう一度行きたい」観光地。一番好きな食べ物は、特にないが強いてあげればイクラ丼やジャコ丼、海鮮ものが好きだという。やってみたいことは、グランドゴルフ。五月の青い空の中でクラブを振り切る長友エツ子の元気な姿が垣間見える。好きな女優は、宮崎美子さん、香川京子さん。特に気品のある香川京子さんは、もう60年を超えるファンである。好きな言葉は「ありがとう」、長友エツ子さんらしい言葉である。



シルバーコート新町広報

# さくらの実 No. 1

住宅型有料老人ホーム シルバーコート新町  
 訪問介護サービス なのはな  
 デイサービス さくらスクール







■目にしみるほどの若葉の季節である。朝の出勤時に仰ぎ見る九州山地の峰々は、壮年期の装いがある。その中でも新町は鯉のぼりのよく似合う街並みだと思ふ。その中にシルバーコート新町はある。

■今月から広報を創刊することになった。「さくらの実」の名称は「花実双美」の言葉から付けた。訪問介護が「なのはな」、デイサービスが「さくら」と花の

名前。花も実も立派につけてこそ本来の美しさという。そんな願いを込めて名付た。みなさんから親しまれ楽しんでいただける広報に育てていきたいと思ひます。

編集長には、事務所の尾崎さん。編集員になのはなの朝倉さん、さくらはベテランの吉田さんが担当します。みなさんの情報提供をお待ちしています。

■秋の祭りに使うから芋を植えるという。畑に行ってみると草が伸びて原野になっている。余程気合を入れて開墾しなければならない。それでも畑のそばを流れる水のきれいなこと。アザミの花のきれいなこと。畦に座って握り飯が食いたくなった。



■河野朋美さんご苦労様でした。5月20日で退職されることになりました。

■新人紹介  
原衛和孝（はらえかずたか）さんが、5月11日から職員の間入りをされました。体力には自信のある若者です。よろしくお願いいたします。



原衛 和孝 です！  
（はらえ かずたか）